

病 院 長	副 院 長	事務部長	看護部長	総務企画課長	経理課長	地域連携相談室長

報告月日 平成 30 年 11 月 14 日
報告者 相良 一枝

地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議 事 録

開催月日	平成 30 年 11 月 14 日（水）18 時 20 分～19 時 00 分		
開催場所	J C H O 北海道病院第 2 会議室		
委員長	中村 保博先生	事務局	地域連携相談室：相良
委員出席者 （敬称略）	〔外部委員〕 中村 保博（札幌市医師会豊平区支部副支部長） 藤岡 喬一（中の島福祉のまち推進センター運営委員長） 佐々木 泉顕（佐々木総合法律事務所代表） 佐藤 恵（腎臓内科めぐみクリニック院長） 館 睦子（札幌市豊平区保健福祉部長） 〔当病院職員〕 数井 啓藏（副院長兼地域ケアマネジメント部長） 古家 乾（JCHO 北海道病院 病院長）		
委員欠席者 （敬称略）	〔外部委員〕 柳瀬 義博（札幌薬剤師会常務理事）		
その他出席者 （敬称略）	〔当病院〕 小野寺 正逸（事務部長） 堀 由美（看護部長）		
要旨	議題 1. 当病院の地域医療連携の現況報告 ① 一日平均患者数の推移 ・入院 1 日平均患者数の推移 9 月北海道胆振東部地震の影響で患者数が減少している。 ・平均在院日数 短縮している。 ・外来 1 日平均患者数の推移 稼働日が祝日や地震で減少していて数に表れていないが、地震の影響で減少している。 ② H 3 0 年度・H 2 9 年度 科・月別手術件数比較（手術室実施件数） ・地震の影響で定期手術の延期があった。 ③ 紹介患者数・紹介率の推移 9 月は地震の影響で減少しているが年度の平均で地域医療支援病院の基準を満たしている。 ④ 逆紹介患者数・逆紹介率の推移 9 月は地震の影響で減少しているが地域医療支援病院の基準を満たしている。 ⑤ 共同利用 平年並み		

⑥ 地域医療研修 平年並み

中村委員長より

・在院日数は短縮しているのか と質問あり。古家院長より昨年は循環器撤退により生じた空床を埋めようとして在院日数がのびていた。今年は DPC に沿って対応するように指導し、パス化も進み在院日数も短縮している。入院患者の中には高齢者などで退院調整が困難になり日数が伸びる場合もある。

・外科の手術が多い印象ですが、実際はどうなのか 数井副院長より 80才、90才でも手術するので、帰る場所が問題になるケースも多い。9月は手術を延期したケースもあったが10月は手術件数も戻っている。

2、その他

①北海道胆振東部地震 古家院長より報告する。地震により当院の建物の被害はなかった。発生直後に病院の状態を確認し停電等がなかったので少し安心していたが、その後ブラックアウトになり、病院へ駆けつけた。9月6日 外来患者の対応は薬の切れてしまう人への処方 周辺の調剤薬局の事情を考慮し、4日分の処方とした。健康診断は中止し、付属老健のデイサービスも中止した。電気の回復は17:40くらいであった。先日 地域医療支援病院の会議があり そこで話されていたのが、地域により電気の回復の時間に差があり、北海道医療センターは災害拠点病院ではあるが、9/7 の0時すぎに通電再開であった。当院の電源は都市ガス会社が提供しているコージェネとよばれるもので停電直後から病院が必要とする最低限の電力は対応ができていた。今回はガス管にも問題が無く使用できていたが、予備の LPG ガスのタンクも19時間分準備があった。水道は井戸水をくみ上げていて万が一 断水でも対応出来る。

ただ電子カルテが停電で使用できなく、再起動しサーバーは動いていたが、ハブ電源が一般電源なので一部の場所でのみ閲覧となったので 病棟、救急外来のハブを自家電源対応へ交換した。インターネットは使用できず、EMIS の入力も個人のスマートフォンで入力した。今回のような有事の際には 各病院が出来る事をしていくのが大切であるので、今後当院の BPC マニュアルを策定していきたい。

中村委員長より

・何が起きるかわからないので、建物が倒れて送電線が破損するなどもあるかも知れないので重要ですね。豊平川の氾濫は大丈夫ですか？近いので

古家院長より ハザードマップによるともう少し下流の地域が問題になっている。

・中村委員長より めぐみクリニックはどうでしたか

佐藤恵委員より 震度4で職員が集まるというルールであったので、職員がきた。建物を建てる時災害に対応出来るようにフレックスタイプの配管にはしていた。幸いなことに9/6 は木曜日で一部透析、人数が少なかった。午後に透析をできるかなと考えたが、透析の機械を回さないと損壊があるのかわからないので、通電してからチェックし、損壊はなく金曜日に20時過ぎまでかかり透析対応をした。当日 北海道の被害が明らかになり、日本透析医会へ透析患者の受け入れ要請をした。透析患者の透析時間についても短時間透析をするべきかの判

断をした。透析予定の患者さんで連絡が付かない人がいて送迎バスを使用し自宅へ行き安否などを確認した。救急搬送された溢水の患者へ緊急透析も行えた。

・中村委員長より 札幌市の対応はいかがでしたか

館委員より 第二非常配備という状態であった。避難所をすべて開くようにし、担当者が着いた時点で避難所を開いた。豊平体育館は工事中で使用できず、小中学校を避難所とした。豊平区役所内は倒れたものはあったが、建物の被害はなく、自家発電で電源も確保した。高齢者が中心に避難所を使用され、日中は自宅で過ごし夜は不安なので避難所で過ごすなどされていた。豊平区でも少ないが液状化が起きている。

②リバーサイド消化器懇話会のおしらせ

③健康フェア報告

④地域講演会のおしらせ 11/21, 12/7 ちあふると協働開催する。

11/21 当院産科医師による「女性のヘルスケアのお話し 子育て中のおかあさんへ」場所はちあふるで開催する。12/7 当院小児科医師による「代表的な症状別にどうかんがえたらいいのか (仮)」講演予定である。

⑤退院支援・調整に関わる研修のおしらせ

⑥付属老健 家族会報告